

葉樹林通信

ぱぷる
第15号 2016年6月17日発行

～どうやって、作ったの!?～
ふしぎもの大観覧会

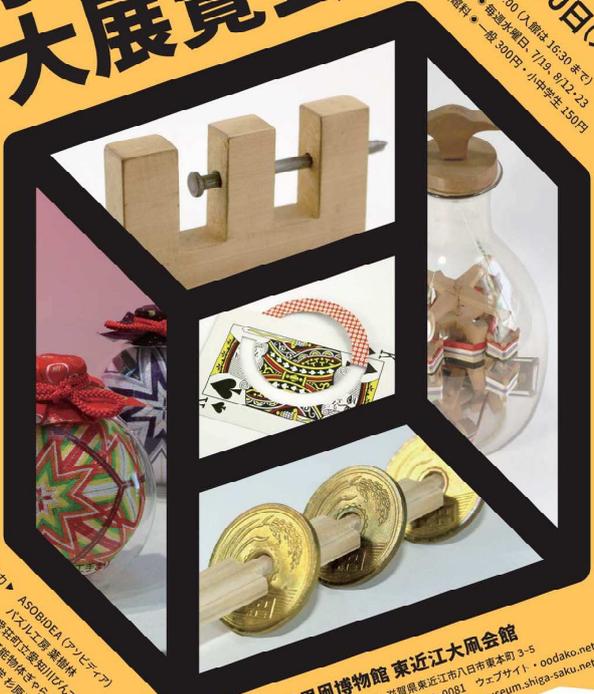
カードを用いて創られたもの
カードを組み合わせて

どうやって、作ったの!?
ふしぎもの大観覧会

世界風博物館
東近江大風会館
1階展示ホール

2016年
7月14日(木) ▶ 8月30日(火)

前席時間 * 9:00~17:00 (入館は 16:30 まで)
休館日 * 毎週水曜日 7/15, 8/12, 23
入館料 * 一般 300円・小学生 150円



協力 ▶ ASOBIDEA (アソビデア)
パピル・アート・ワークショップ
愛媛県佐田町川平にてまの館
不可動動物まの館
明治大学 美術部

世界風博物館 東近江大風会館
〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町 3-5
電話・0748-23-0081 ウェブサイト・oodako.net
ブログ・oodakomuseum.shiga-saku.net



カードを用いる利点として 同じ大きさのものが
多くの枚数あるということでしょう
百均の影響も大きいかもしれません より安価で
入手可能です
これらはアメリカのジョージ・ハート氏のデザイン
です 氏は実に多くの多面体をデザインされていま
す その中からカードを用いたものに絞りました



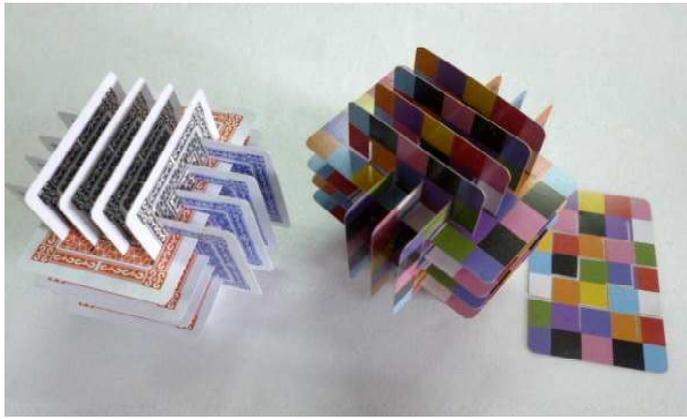
今年の夏も 滋賀県の東近江は熱いかも
夏休み特別企画展 ～どうやって、作ったの!?～
ふしぎもの大観覧会

詳細は東近江大風会館のWebで
<http://oodako.net/>

様々な視点から捉えた 不思議な物がいっぱい
こうした創作物の中には カードを用いたものも
いろいろあります 日本ではトランプと呼ばれる
プレーイング・カードです
今回は 手元にある カードを用いて創られたもの
を紹介していきます
組み合わせて創ったもの 折り曲げて創ったもの
中には この観覧会のように どのようにして創つ
たものなのか わからないものもあります
カードひとつ取り上げても 実に様々な おもしろ
いものや不思議なものがあります
では 葉樹林のあちこちに転がっている カード
を用いて創られたものを 少し紹介していきます



これはアメリカの
ジョージ・ミラー氏が
創られた カードを
3枚組み合わせたもの
レーザーカットされて
います



カード12枚組
これは日本のShirakawa氏がデザインされたもの
右側のものは 組み合わせ方 仕組みがわかるよう
に最後の12枚目が組んでありません

カードを切って折り曲げて



カードを切って折り曲げて形を整えたもの
とは言っても 単純に折り曲げてでもできるものでは
ありません
折り方に工夫をしなければ 形を整えることができ
ません
丁寧に切って 折り方を工夫すれば なんとか形に
なるかもしれません
しかし 中には それだけでは解決できない不思議
なものも混じってきます

カードを切って折り曲げただけでは



単に切って折るといっただけでは形作ることができない
ものもあります まさに どうやって創ったのでしょ
うかというものです
これらのものを多く創られているのが イギリスの
アンガス・ラベリー氏です ご本人のものは持って
いませんから デザインされたものを私が創ったもの
を紹介します



カード
ヘンジ

真ん中のは
私の作



蝶ネクタイ

カードと他のものを組み合わせて



ボトルに詰めて
Tamori氏の作品
右の物はボトルもカードも
今では入手困難

Nakanishi 氏の作品
カードが鎖のよう
に繋がっています
しかもペットボトル
の中に入っています



オランダのWil氏が見せてくれた
のを おもしろいので私が創って
みました